

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

21 October 2009

IN THE HEADLINES



ロシア

政府は USD180 億ドルを超える国際債券を来年発行する意思を表明したが、これは 2009 年に GDP の 7-10% (約 USD1,100 億ドル)、2010 年に GDP の 6-7% に上る財政赤字を見込んでおり、公的歳入を支えるためである。今のところ赤字は積立基金—原油価格が高かった時期に、こうした事態に備えていたもの—からの引出しでまかなわれている。しかしこの基金からは 3—9 月の間で USD600 億ドルも引出されて残高は USD 760 億ドルとなっており、このペースが変わらなければ 2010 年辺りには枯渇することになる。更に、ロシアは 2009—10 年には更なる資金調達が必要となる見込みだが、その規模については原油価格とルーブル/米ドルの為替水準に拠ることになるだろう。



ハンガリー

主要政策金利は 50bps 引下げられて 7% となり、6 月からは累積で 250bps、1 年前からは 450bps 引下げられたことになる。中央銀行は為替水準の安定を優先しているようであり(ハンガリーフォリントは 3 月の水準より回復し安定してきている)、また、インフレ抑制よりも景気回復を優先しているため、インフレ率は 9 月に前年同期比で 4.9% と、2—4% という目標水準を上回っている。しかし、高い外貨建ての債務返済比率と信用供与の収縮状態が、金融緩和が生産量増大に与える影響に水をさすことになるだろう。2009 年に実質 GDP は 6.5% 程度縮小し、2010 年には 0.5% 程度縮小することになるだろう。



メキシコ

中央銀行は先週、第 3.4 四半期における経済成長を期待して政策金利の水準を維持した。また、インフレ率は前年同期比 4.9% と、低下傾向にありかつ 17 ヶ月来の低水準になったとはいえ、まだ目標インフレ率よりも高く、中銀総裁のオルティズ氏は同水準は維持されるだろうと確認した。一方、下院の税制にかかる主要委員会は 2010 年予算においていくつかの税率引き上げを承認した。野党制度的革命党(PRI)は政府が提案した 2% の一般売上税を阻止したが、付加価値税の 15% から 16% への引き上げ、暫定的な所得税の引上げには同意した。これらの措置によっても従来計画されていた財政赤字よりも若干赤字水準は高くなるが、正しい方向には進んでいる。



ウルグアイ

大統領選挙の初選および議会選挙は日曜日に実施される。タバレ・ヴァスケス大統領は 2 期連続で就任することは認められていないが、最新の世論調査によれば与党中道左派の拡大戦線連合の候補者であるホセ・ムジカ氏を優位としたが、決選投票なく当選を確実にするための 50% 以上の得票はありそうにない。恐らく決選投票は野党・国民党で元大統領のアルベルト・ラカル氏との間になるだろう。いずれにしても、経済回復の兆しが見え始め、世界の景気後退の影響を受けた最悪の不景気の事態は避けられたと思われる中、ムジカ氏は 11 月 29 日の決選投票に勝利するだけの勢いはあると思われる。

ALSO IMPORTANT---



ナイジェリア

ニジェール・デルタは長らく、とりわけニジェール・デルタ解放戦線(MEND)を通じて、軍事衝突と社会不安、政治的な陰謀と経済活動の抑制の原因となってきた。当該国の原油生産量はその容量の 1/4 でしかない。現在、連邦政府は原油埋蔵地域の市民に原油及びガス事業に対する 10% の持分を与えることにより、衝突を緩和し、全般的な収入創出力を底上げすることを期待している。このスキームの元では、自治体は、恐らく信託のようなものを通じて現金収入を得ることも考えられる。長期的な利益も生み出さうる大胆な計画だが、短期的には原油生産量の増大や軍事衝突の終焉にはつながらないだろう。



スリランカ

先週、大統領選は、2010 年 4 月の議会選挙と共に行うと発表された(大統領の任期は 2011 年 11 月まで)。与党統一人民自由連合(UPFA)は、今年 5 月のタミル・タイガーに対する勝利によって軍部への支持率が高まっているこの機会に乗じたいとしている。しかし、この支持率の高まりは一時的なものである可能性が高く、深刻な問題が残っている。問題としては、当国の人権侵害を問題とした、欧州連合の貿易アクセスのための GSP+メカニズム(訳者注:途上国産品に対する優先的な輸入自由化(無税無枠)措置)への参加の保留]があげられる。輸出の半分程度が衣料の出荷によるものであるため、貿易優遇措置を失った場合の不利益が経済に負の影響を及ぼすことが見込まれる。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



ナミビア

1990 年から 2004 年まで国家元首だったサム・ヌジヨマ氏が依然として政治的な影響力を及ぼしているとはいえ、ポハンバ大統領は独自路線をとっているように見える。11 月の選挙ではポハンバ氏及び与党南西アフリカ人民機構(SWAPO)が圧勝し、政治的な継続性と全般的な安定性が保たれるだろう。土地改革は依然として重大事項であるが鉱業セクター(主としてダイヤ、その他ウランと金)が経済拡張の牽引車である。現状、金属と鉱物資源に対する世界的な需要の弱さから、今年と来年には財政赤字が見込まれるが経常収支は黒字を継続するだろう。また、GDP は 2010 年に 2% の成長に戻る前に今年 1% 程度縮小するだろう。



パプアニューギニア

政治的な安定性はここ数年で改善したが連立与党は肥大化し、首相は政治的なスキャンダルに脅かされている。歴史的には不安定な状態が長く続いており、組織的な政治リスクは相対的に高い。マクロ経済のリスク指標は悪化し、これは 2008 年第 4 四半期および 2009 年第 1 四半期においてコモディティ価格が急落した際の同国経済の脆さを反映している。2009 年の実質 GDP 成長のペースは急激に遅くなるが、対外流動性は十分確保され、そのポジションは、政治的な安定が維持される限りは管理可能と思われる。しかし構造的なビジネス環境は相対的に弱いだろう。

IN BRIEF

ブラジル

為替レートの増価を抑制するため、資本流入(間接投資にかかるもの)に対し 2% の課税が行われることになった。

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.